

第3号様式

(第1面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 104-8365  
 住 所 東京都中央区京橋一丁目5番8号  
 氏 名 日本冶金工業株式会社 印  
 代表取締役社長 杉森 一太  
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	日本冶金工業株式会社		
主たる事務所 又は事業所の所在地	神奈川県川崎市川崎区小島町4番2号		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	E	製造業
	中分類	22	鉄鋼業
主たる事業 の内容	製鋼・製鋼圧延業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	147,466	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO <sub>2</sub>
連絡先	担当部署	担当部署名	技術部
		所在地	神奈川県川崎市川崎区小島町4-2
		電話番号	044-271-3017
		FAX番号	044-271-3292
		メールアドレス	
※受付欄		※特記事項	※事業者番号

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ～ 平成24年度 (報告年度 平成23度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添指針様式第2号及び第3号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添指針様式第2号及び第3号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添指針様式第2号及び第3号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添指針様式第2号及び第3号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。  
2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。  
3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。  
4 ※印の欄は記入しないでください。  
5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

### 事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 281,780 t-CO <sub>2</sub> (調) 249,256	(実) 299,074 t-CO <sub>2</sub> (調) 266,582	(実) 281,951 t-CO <sub>2</sub> (調) 250,968	(実) t-CO <sub>2</sub> (調)	(実) 264,820 t-CO <sub>2</sub> (調)
削減率		(実) -6.1 % (調) -7.0	(実) -0.1 % (調) -0.7	(実) % (調)	(実) 6.0 % (調)

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	造塊量		単位	t-CO <sub>2</sub> /千t	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値	784.3	887.5	948.7		766.3
削減率		-13.2 %	-21.0 %	%	2.3 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	温室効果ガスは基準年に対し、高付加価値製品比率が上がったため、排出量原単位が増加し、今年度は排出量が6.1%増加した。
第2年度	基準年度に対し、温室効果ガスは同レベルとなった。 昨年度に対し、生産量が減少したため、6%減少した。 一方、原単位は、2年続けて、高付加価値製品比率が上がったため、増加した。
第3年度	

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、 第2号、 第4号該当者等)	計 画	(1) LPG使用設備のLNG(都市ガス)への燃料転換を計画的に実施。 (2) CO2削減のための省エネ案件の抽出し、順次実施していく。
	第1年度	(1) LPG使用設備のLNG(都市ガス)への燃料転換を実施した。 (2) CO2削減のための省エネ案件の抽出した。 (3) ポンプ・ファン・ブローの運転管理については設備の一部改造を終了、一部測定中である。
	第2年度	(1) LPG使用設備のLNG(都市ガス)への燃料転換を90%完了した。 (2) CO2削減のための省エネ案件の抽出した。 (3) ポンプ・ファン・ブローの運転管理については設備の一部改造を終了。
	第3年度	
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	



## 4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	

## 5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	(1) 環境マネジメントシステム (ISO14001) の継続的改善による環境保全活動の推進 (2) 県経営者協議会、エネルギー管理指定工場連絡会、産業環境管理協会などの主催の講習会・説明会等を通じての省エネルギー活動の対策の調査 (3) 産業廃棄物の発生量を減らすことによりCO2を削減する。
第1年度	(1) 環境マネジメントシステム (ISO14001) の継続的改善による環境保全活動の推進 (2) 県経営者協議会、エネルギー管理指定工場連絡会、産業環境管理協会などの主催の講習会・説明会等を通じての省エネルギー活動の対策の調査
第2年度	(1) 環境マネジメントシステム (ISO14001) の継続的改善による環境保全活動の推進 (2) (財)省エネルギーセンター主催の講習会を開催し、省エネルギー活動の対策の調査を行った。
第3年度	

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	266,459	t-CO <sub>2</sub>
(調)	266,099	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO <sub>2</sub>
(調)		

(2) 事業所等单位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
日本冶金工業株式会社 川崎製造所	神奈川県川崎市川崎区小島町4番2号	2221	製鋼・製鋼圧延業	266,459 t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等单位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>
				t-CO <sub>2</sub>

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--